

新任者支援手順書Ⅰ ～まずはココから始めよう～

<本手順書の目的や使い方>

本手順書は、地方公共団体の適応関連部局及び地域適応センターに新たに配属になった方の気候変動適応や関連業務等についての理解を支援することを目的としています。

以下本文では、気候変動適応法の施行通知に記載される、地域適応センターに期待される活動内容の7項目について、新任者が早期に取り組み可能と想定されるもの（以後、「**まずはココから**」とする）、更に詳しく知りたい時に参照できる資料等（「**もっと詳しく**」とする）を、1～7章にて説明します。更に、8章では、7項目に含まれない適応関連部局や地域適応センターの運営などに係る内容を説明しています。なお、各情報やツールのリンクは、下線が引かれている単語をクリックすれば開くことができます。

特に、1章の「(1) 新任者の基礎知識の取得」の内容からお読み頂ければ、以降の内容の理解にも繋がります。また、1章(2)や2章には関連データの取得やアンケートの実施など実務を進める際の参考資料等も掲載していますので、これらを用いて、作業を行ってみるとより理解が深まることが期待されます。

また、本手順書は、自らの部局やセンターの状況にあわせて、自由に編集することができます。編集して新任者への引継ぎ資料にするなどご自由にお使いください。

最後に、次ページ以降で業務について理解を深めていく、その前に確認しておくことがあります。必要に応じて前任者や職場の他の方にもご確認ください。

✓ **まずはココからの前に！**

- ・ 国立環境研究所の気候変動適応センター（以後、適応センター）には地域ごとの担当者がおり、様々なご相談に対応しています。地域の担当者を確認しておきましょう。
- ・ 適応センターが提供する [A-PLAT](#) は適応に関連する情報やツールを一元化して提供しています。サイトの URL を登録しましょう。
- ・ 業務上よく関わる部局の担当者やよく連絡する専門家などについて、名前や連絡先を確認しておきましょう。
- ・ 業務のコツや難しい業務等についてもできる限り前任者に聞いておきましょう。

なお、本手順書に掲載されていない内容は、A-PLAT をご参照ください。

1 (科学的知見の整理) 地方公共団体の要望に応じて地域気候変動適応計画の策定に必要な地域の気候変動影響及び気候変動適応に関する科学的知見の整理

(1) 新任者の基礎知識の習得

✓ まずはココから

- ・ 始めに、A-PLATの「気候変動適応とは」のページで、気候変動や緩和と適応の関係、適応のための国際的な取り組み・適応法・国立環境研究所の役割といった、全体感を掴みましょう。

⇒ [気候変動適応とは](#)

- ・ 次に、新任者向け研修の動画・資料を使って、気候変動適応に関する基礎的な知識を習得しましょう。内容は講義1「気候変動及び適応の基礎知識」と講義2「国立環境研究所による地方公共団体等支援及び気候変動適応情報プラットフォーム(A-PLAT)の使い方について」に分かれています。

⇒ [新任者向け研修](#)

✓ もっと詳しく

- ・ 更に詳しく知りたい方は、以下の資料をご参照ください。

①	適応法	気候変動適応法
②	国の適応計画	気候変動適応計画
③	分野ごとの気候変動影響	気候変動影響評価
④	分野ごとの適応策	適応策データベース
⑤	A-PLATに寄せられているよくある質問とその回答(A-PLATの使い方等含む)	よくあるご質問
⑥	用語や関連する内容の科学的な解説	気候変動適応用語集
		ココが知りたい地球温暖化 気候変動適応編
⑦	全般的な内容をより詳しく知りたい	気候変動適応 e-ラーニング

(2) 気候変動影響に関する観測や予測データの収集

✓ まずはココから

- ・ A-PLAT の「気象観測データ（気象庁提供）」のページで都道府県ごとの 100 年以上の気象観測データ（平均気温、降水量、真夏日、猛暑日）のグラフが掲載されています。こちらで、地域の気候変動について確認してみましょう。

⇒ [気象観測データ（気象庁提供）](#)

- ・ また、A-PLAT の「将来予測 画像データ」のページでは、都道府県ごとの気候変動や気候変動影響についての予測結果を示すグラフとマップを確認することができます。更に、「将来予測 WebGIS（オンライン地理情報システム）」のページでは、これらを WebGIS 上で見ることができ、細かく条件設定を変えることもできます。

⇒ [将来予測 画像データ](#)

⇒ [将来予測 WebGIS（オンライン地理情報システム）](#)

✓ もっと詳しく

- ・ 地域の観測データを実際に、取得したい場合には、A-PLAT の「各省庁の観測・統計データ入手方法手引き」のページに、気象庁のホームページから過去の気象データや国土交通省の「水文水質データベース」から関連データをダウンロードする方法が説明されていますので、ご参照ください。

⇒ [各省庁の観測・統計データ入手方法手引き](#)

- ・ また、地方の気象台では、地域の気象関連のデータを蓄積し発信しています。相談し、データ提供を受けることが考えられます。

- ・ 他にも以下の内容をご参照ください。

①	その他の統計データを取得したい	統計データ・白書等
②	地球規模／各地域の観測で得られたデータや様々な研究プロジェクトの成果を取得したい	DIAS データ統合・解析システム
③	GIS を使ったデータ収集がしたい	WebGIS によるデータ収集・共有・発信

2 (適応策の収集) 地域における適応の優良事例の収集

✓ まずはココから

- ・ A-PLAT の「インタビュー (適応策)」のページで地域での適応策の取り組みに関するインタビュー記事が掲載されています。いくつか記事を読んだり動画を見たりして、地域で取り組まれる適応策がどのようなものかイメージを掴みましょう。

⇒ [インタビュー \(適応策\)](#)

✓ もっと詳しく

- ・ 地域で取り組まれる適応策に関する情報収集のためにアンケートが行われています。住民・自治体・事業者等にアンケートを行うことで適応策の情報を収集することができます。A-PLAT に地方公共団体等が気候変動や適応に関するアンケート調査を実施した事例と設問例が掲載されており、参考にすることができます。

⇒ [アンケート調査実施時の参考資料](#)

3 (気候変動影響の予測・評価) 地域における気候変動影響の予測及び評価

✓ まずはココから

- ・ A-PLAT に掲載される地域適応計画の計画策定マニュアルには気候変動の影響の予測・評価について、関連する内容や進め方等が示されています。計画策定マニュアルの STEP3・STEP4 を確認し、イメージを掴みましょう。

⇒ [計画策定マニュアル](#)

✓ もっと詳しく

- ・ 自らの地域で気候変動影響評価を行っている場合は内容を確認しましょう。
- ・ また、様々な地域で気候変動影響の予測の取り組みがあります。地域コンソーシアム事業や国民参加型事業 (3年目) における地域の事例を確認することができます。

⇒ [地域コンソーシアム事業](#)

⇒ [国民参加による気候変動情報収集・分析事業](#)

- ・ 実際に予測を行いたいという場合には適応センターに相談することができます。気軽に相談ください。

⇒ [お問合せフォーム](#)

4 (適応計画や適応策) 地域適応計画策定や適応推進のための技術的支援

✓ まずはココから

- ・ まずは、自らの地域における地域適応計画を確認し、これまでに策定されている内容を確認しましょう。
- ・ また、A-PLAT に掲載される地域適応計画の計画策定マニュアルには、入手可能な情報を使って地域適応計画を策定・変更する標準的な手順や参考となる情報・考え方等が示されており、作業手順をまとめた「手順編」と「手順編」に沿って収集した情報から地域適応計画の素案を作成するための「ひな形編」があります。これらを確認し、イメージを掴みましょう。

⇒ [計画策定マニュアル](#)

✓ もっと詳しく

- ・ 多くの自治体で地域適応計画が策定され、公表されています。他の地域の適応計画を確認し、内容や取り組まれる適応策について確認することができます。

⇒ [地域気候変動適応計画一覧](#)

- ・ また、適応策についての事例や内容を確認し、地域で必要とされる適応策、実施が想定できる適応策を検討するにあたって、以下の資料が参考にできます。

①	適応策の事例	適応策データベース
②	地域で取り組まれる適応策についてインタビュー形式の情報	インタビュー（適応策）
③	分野ごとの適応策についてイラストを使って可視化	インフォグラフィック

5 (情報発信・普及啓発) 地域における気候変動影響に関する様々な情報についてウェブサイト等を通した発信

✓ まずはココから

- ・ 関連情報の発信にあたっては、まずは、適応センターが作成した気候変動の影響への「適応」を説明したパンフレットを印刷して配布することや、自らの組織の紹介用パンフレットを作ること・ホームページを立ち上げて関連情報を発信することが考えられます。A-PLATには、以下の関連ツールが掲載されており、活用することができます。

①	「適応」のパンフレット	パンフレット・普及啓発ツール
②	紹介用パンフレットの作成	組織紹介用パンフレットの雛形
③	ホームページの立ち上げ	ウェブサイト開設ツール

✓ もっと詳しく

- ・ 相手に合わせた情報発信としては、セミナーなどのイベントで情報発信することや、小学生向けの出前事業など学生向けの取り組みが考えられます。A-PLATには、イベントで関連情報を説明する際に利用可能なスライド（Power Point ファイル）の雛形や学生向けの情報発信用の資料が掲載されており、活用することができます。

①	イベントでの説明時に利用可能なスライド	プレゼンテーション資料（ガイドブック、スライド集）の提供
②	学生向けの情報発信	環境学習・自由研究素材一覧
		小学生向け、中学生向け、高校生向けの e-learning

6 (事業者や住民) 地域の事業者や地域住民の適応に関連する相談への対応

✓ まずはココから

- ・ まずは、組織紹介用パンフレットやホームページを作り、そこに相談用の連絡先を記載することで、相談を受けられるようにしましょう。

✓ もっと詳しく

- ・ セミナーなどのイベントや出前授業に訪問する際にパンフレットやホームページを知らせ、関連する相談ができることを伝えましょう。

7 (情報の整理や共有) 活動により収集した情報及び整理、分析した結果等の国立環境研究所との共有

✓ まずはココから

- ・ 適応センターには地域ごとの担当があり、様々なご相談に対応しています。まずは、該当する地域の担当者にご連絡ください。

⇒ [お問合せフォーム](#)

✓ もっと詳しく

- ・ 適応センターは、「気候変動適応に関する地域気候変動適応センター等との共同研究」を実施しています。御関心のあるテーマ等ございましたらお問合せください。既に複数の地域の方々が共同研究に参加されています。

⇒ [気候変動適応に関する地域気候変動適応センター等との共同研究](#)

8 (その他) その他、地方公共団体の適応関連部局及び地域適応センターの運営等

✓ まずはココから

- ・ 地域で適応に取り組むにあたっては、まずは他の地域での取組事例を知りイメージを掴むことが有効です。適応センターでは、自治体や地域適応センター同士のネットワーク構築のために、様々な試みを行っています。活用し、ネットワークの構築に繋げることができます。

⇒ [センター間の情報共有](#)

✓ もっと詳しく

- ・ 地域で適応に取り組むにあたっては、活動費や研究費が必要になる事もあります。A-PLATに掲載されている、よくあるご質問（域で気候変動影響や適応についての研究を行いたいのですが、どのようにしたらいいでしょうか。使える資金はありますか。）にて参考となる情報が確認できます。また、適応センターは推進費等の研究費申請支援も行っていますので、気軽にご相談下さい。

⇒ [よくあるご質問 地域で気候変動影響や適応についての研究を行いたいのですが、どのようにしたらいいでしょうか。使える資金はありますか。](#)

<最後に>

本手順書でお伝えした内容は、新任者の方の気候変動適応に関する理解や関連する業務が容易になるよう支援することを目的としています。ここでお伝えしていないより幅広く、詳細または複雑な内容についても、A-PLATにて提供されていることがありますので、そちらをご覧ください。

以上